一　般　質　問　通　告　書

令和　８年１０月２９日

議 会 議 長　　様

議席番号　　４　　番

議員氏名　久　松　祐　樹

質 問 事 項	質　　問　　要　　旨	指 定 答 弁 者
１．住民参加による行政事業の見直し	住民自治とは、行政に要望を伝えることだけではないと考えます。自分たちに何が必要なのかを考え、限られた人員や財源の中で、何を残し、何を諦めるのかを選ぶことも自治の重要な役割です。 岩手県奥州市の伊手地区では、人口減少と高齢化が進む中、住民自身が地域活動を見直しました。従来１２８あった事業は、約３分の２に整理されたと７月２５日付の日経新聞で報じられています。住民アンケートを実施し、それぞれの活動の重要性と見直しの必要性を話し合ったことが特徴です。 私は、ここに行政改革にも通じる重要な示唆があると考えます。私たちが行政に「あれもやってほしい、これもやってほしい」と求め続ければ、行政の仕事と財政負担は膨らみます。しかし、その財源は結局、住民や企業が負担する税金です。だからこそ、住民自身が受益と負担を踏まえて、何を行政に任せ、何を自分たちで担い、何をやめるのかを考えていくことが大切だと考えます。そこで、以下伺います。 （１）当町の事業ごとの目的や費用、財源を分かりやすく示し、住民が受益と負担を踏まえて、何を残し、何を見直すかを話し合う機会を設けるのはいかがか。 （２）既存の外部評価に加え、より幅広い住民による事業の優先順位付けを、当町の事務事業評価や予算編成に反映し、必要性の低い事業については縮小・廃止と歳出抑制につなげるのはいかがか。	町長 副町長 総合政策課長 住民協働課長 担当課長

１０月２９日　午後　４時０２分 受理

質問事項	質　問　要　旨	指定答弁者
２.「アグリパークゆめすぎと」を地域創生の拠点に	全国の地域活性化の成功事例に共通しているのは、地域資源を再発見し、創意工夫によって新たな価値を創出していることだと考えます。また、地域が抱える課題を強みに転換し、外部の知恵やノウハウも積極的に取り入れながら、持続可能な仕組みを構築することが、地域の活性化につながると考えます。そこで「道の駅アグリパークゆめすぎと」に対して、以下伺います。 （１）今後どのように地域資源や特色を魅力として打ち出し、地域産業の振興につなげていくのか伺う。 （２）公園部分については、施設や空間の有効活用によって収益力の向上を図り、指定管理料への依存を軽減するとともに、施設全体の経営の自立化を目指すべきと考えるが見解を伺う。	町長 副町長 産業振興課長 担当課長
３.「歩ける」より「歩きたい」東口通り線へ	「歩きたい」「立ち寄りたい」「滞在したい」と思える場所をつくることが、エリアリノベーションの鍵であると考えます。 まずは、小さなエリアからでも、こうした魅力を備えた空間を創出し、人の流れや交流を生み出すことで、まちに新たな変化が生まれ、周辺地域への波及効果も期待できると考えます。 そこで、東武動物公園駅東口通り線及びその周辺エリアに対して、以下伺います。 （１）「ストリートプランツ＠杉戸」が実施されたが、本プロジェクトの費用対効果をどのように検証・評価されているのか伺う。 （２）本プロジェクトを一過性の取組に終わらせることなく、既に策定された「東武動物公園駅東口通り線周辺アーバンデザイン」等にどのように反映し、今後のエリアリノベーションへと発展させていくのか伺う。	町長 副町長 市街地整備推進室長 担当課長